

令和7年度 第1回富田林市防災会議 議事概要

1. 日 時

令和7年10月2日（木） 10時00分～11時15分

2. 場 所

富田林消防署 4階会議室

3. 出席状況

32名出席、4名欠席

4. 次 第

あいさつ

1 開会

2 委員紹介

・令和7年度防災会議委員名簿

・会議席次

3 案件

(1) 富田林市地域防災計画の改訂について

①地域防災計画の概要及び今後の改訂スケジュールについて

②富田林市地域防災計画の修正方針（案）について

③富田林市地域防災計画（修正素案）について

④修正素案に対する意見照会について

4 その他

・富田林市の防災に関する取組について

【配付資料】

資料 防災会議 次第

資料1 富田林市防災会議委員一覧

資料2 会議席次

資料3 地域防災計画の概要及び今後の改訂スケジュール

資料4 富田林市地域防災計画の修正方針（案）

資料5 富田林市地域防災計画（修正素案）

資料6-1、6-2 修正素案に対する意見照会

5. 議事概要

議事概要是、以下のとおり。

1 開会

富田林市 吉村市長より、挨拶。

2 委員紹介

事務局より、各委員の紹介。

3 案件

(1) 富田林市地域防災計画の改訂について

①地域防災計画の概要及び今後の改訂スケジュールについて

②富田林市地域防災計画の修正方針（案）について

③富田林市地域防災計画（修正素案）について

④修正素案に対する意見照会について

事務局より、富田林市地域防災計画の主な修正内容、意見照会について、別紙（パワーポイント）により説明を行った。

4 その他

事務局より、別紙（パワーポイント）を用い防災に関する取組について説明を行った。

【質疑】

①地域防災計画の概要及び今後の改訂スケジュールについて

意見なし

②富田林市地域防災計画の修正方針（案）について

③富田林市地域防災計画（修正素案）について

松下委員の代理 平野氏：資料の修正方針の4ページ目、「14 その他の修正」の丸の下から7番目にある「一般送配電事業者等における無電柱化の促進」の記載について、「国の無電柱化計画に基づく無電柱化の推進」として修正してほしい。

事務局：国の無電柱化推進には、様々な主体の役割分担、連携を推進することが大切だと規定されている。現状の記載だと、一般送配電事業者のみの役割と誤解をまねく恐れがあるかと思うので、修正していくということで考えている。また、無電柱化による様々な防災対策についても、計画本編に反映できるよう調整したいと考えている。

安岡委員：大阪府富田林土木事務所は大阪府の危機管理の役割を担っていて、富田林市地域防災計画（修正素案）の内容について、事前に府で作成したチェックリストに基づき確認した。国の動向や、令和2年度以降の大きな台風などの災害、能登半島地震の教訓を踏まえた基本的な事項は盛り込まれていることを確認している。特に、女性の視点も入れた避難所のあり方、新型コロナウイルスを意識した活動、そして受援（援助を受ける）計画といった内容が踏まえられている。委員の細やかなお気づきの点があれば、私どもの気づきにもなり、今後の日常的な活動にも役立ちますので、ご意見を提案いただけたとありがたい。

事務局：安岡様からご指摘いただきました大阪府地域防災計画との整合につきましては、チェックリストに基づき整合を図っているところですが、引き続き個別の協議等を踏まえながら、この会議でのご意見も共有し、改訂していくことを考えている。

浅野委員：事務局から、消防団と自主防災組織との連携が重要であるとのお話をあり、私も日頃から顔の見える関係を築くことは大切だと考えている。連携には組織の役割や権限に違いがあり、様々な課題があるが、本日は自主防災組織連合会長（石田会長）もご出席いただいているので、ご相談させていただきながら、積極的に取り組んでいきたいと考えている。

石田委員：私の住んでいる地区でも、消防団の皆様に防災訓練の実施などでご協力いただいていて、ありがたく思っている。このような連携が地域防災力の向上につながると考えているので、今後ともよろしくお願いしたい。

事務局：消防団と自主防災組織の連携という課題について、両団体の事務局は危機管理室が担っている。石田委員からもお話をいただいた通り、すでに連携して地区の防災訓練が行われている先進的なモデル地区を参考に、様々な課題もありますが、市内全域で地域の防災活動団体が連携できるような仕組みづくりというものを検討していきたいと考えている。

高委員：富田林では外国人市民がかなり増えており、特に海外では地震の発生頻度が少ないため、防災意識が強くない可能性があります。市の地域防災計画を検討する際、多くの外国人が市内に住んでい

ることを忘れないでほしい。国際交流協会でも外国人市民向けの防災訓練を実施しており、地域と一緒に訓練を行う際には、協会に相談していただければ、通訳の派遣など協力することは可能です。また、避難所では外国人女性が支援者側になるなど、雰囲気を明るくする役割も担えるため、日頃からのコミュニケーションを築きたいと考えている。

事務局：今回の計画修正では、「地域防災力向上及び継続発展、多様な主体の参画」を掲げており、これには外国人市民の方々も入っていると考えている。本計画においてもご意見をいただきながら、外国人市民との関わりや役割を担っていただくことをしっかりと盛り込んでいきたい。外国人向けの講座と地域（町会や自治会）の訓練への参加をどう連携させるかが課題であったため、今後は協会と連携して勉強させていただきたい。

山口委員：私たち消防は、消防体制のさらなる充実強化と住民の安心安全を目的として、令和6年4月1日に消防組合を設立し、8市町村を管轄する新たな消防体制となりました。今回の計画改訂では、消防本部時代に担っていた業務の多くが引き継がれることから、大阪南消防組合では、改訂内容を十分に把握し、消火・救急・救助活動はもとより、防災活動にも引き続き取り組み、今後の互いの連携強化に努めてまいりたいと考えております。

植田委員：市民の防災意識が非常に高くなっている。危機管理室が出席している地域での防災訓練や勉強会の実績について、令和6年度の実績と今年度（半期ぐらい）の実績を教えてほしい。

事務局：令和6年度の実績は、出前講座と訓練指導を合わせて38回参加した。今年度（本日現在）は10回出向いているが、秋のシーズンに向けて予定が多く、年間では昨年並みの30回から40回程度の訓練や勉強会が行われる見込みである。

植田委員：市民の防災意識を高めることは非常に重要である。この分厚い計画を職員でも読むのは難しいため、概要版を作成してほしい。概要版は、職員が内容を把握するため、また市民が計画の存在や各所属の役割を理解し、連携を成り立たせるために必要である。特に市民と最も接している危機管理室には、周知活動に活用してほしい。

事務局：今回改訂に合わせて概要版を作成したいと考えている。この計画は市民や団体に担っていただくべきことも含まれているため、概要版を出前講座や訓練の中でも地域の皆さんにしっかりと周知してまいりたい。

花岡委員：本年4月に国から南海トラフ地震の被害想定の見直しが発表され、現在、大阪府の方でも被害想定の見直しをされており、令和8年度中に府内の市町村ごとの被害想定を見直しされると聞いています。同時に、府域の中で影響の大きい直下型地震「上町断層帯」「生駒断層帯」「中央構造線断層帯」「有馬高槻断層帯」などについても見直しされます。その被害想定の発表に伴い、本市地域防災計画や備蓄方針等を大きく見直すことになります。本市としても、これらの動きを注視しながら、今後も防災対策に取り組んでまいりたい。

④修正素案に対する意見照会について

意見なし

6. 会議風景



以 上